

# 新人長野氏及ばず次点

21日開票の市議選で、日本共産党は3人を擁立し挑戦しましたが、大谷としあき、ひぐま知重2氏の現有議席を確保。新人の長野信子氏は103票差の次点となり、議席を得ることが出来ませんでした。



大谷敏彰市議

# 大谷、日隈2議席確保

党団  
産議  
共市  
本日



日隈知重市議



長野信子氏

今回の市議選は定数22議席を現職17人、元1人、新人8人で争う激戦でした。党西部地区委員会は3議席確保を目指して戦いましたが現有2議席を守りました。

激戦を戦った3人は、24日街頭から市議選の結果と公約実現を目指して引き続き頑張ると決意を述べました。日隈市議は「暮しが大変の中、国保税の負担の軽減に取り組み」大谷市議は「災害に強いまちづくり」長野信子氏は「学校給食費の無料化に取り

組む」と決意表明しました。今回の市議選で党日田市議団は大谷敏彰1229票、日隈知重1155票、長野信子927票を獲得しました。投票率が64%と前回比4ポイント下がる中、3人の得票は3392票から3311票となり得票率は前回比8.9%から9.67%となりました。

3議席への躍進を願い、ご支持をいただいた有権者のみなさんや昼夜を分かたずご支援「奮闘いただいた党支持者、後援会員、「しんぶん赤旗」読者のみなさん、すべての党員の皆なさんに心から感謝致します。

# 公約実現と参議院選挙の勝利に全力

今年の統一地方選挙の大分県内の状況は、前半戦では、党は知事選で山下氏を擁立し、得票率が47.41%低下する過去最低の投票率のもとで前回得票の2.5倍化の6万6千502票得票率14.9%で善戦しました。

川内八千代、三上英範氏の3人が当選。宇佐市では現職の今石靖代、新人の赤野道利氏が当選。杵築市は現職の加来喬氏が当選。この結果日田市も含めて改選時比で1議増となり県議選もあわせると2議席増となりました。党大分県

今回の選挙は、ウソとごまかし、消費税の増税など安倍政権の暴走に追随する県・市政と議会を市民の願いに添え無駄遣いをただし、チェック機能を果たせる市議会にしていくために、日本共産党の議席獲得と議員増を訴えてきました。消費税の増税ストップ、

# 増2議席県内で 戦とで 前半戦 後半戦

県議選では大分市区で堤栄三氏が当選し現有議席を守り、別府市区でえんど久子氏が当選し2議席確保し改選比1議席増となりました。

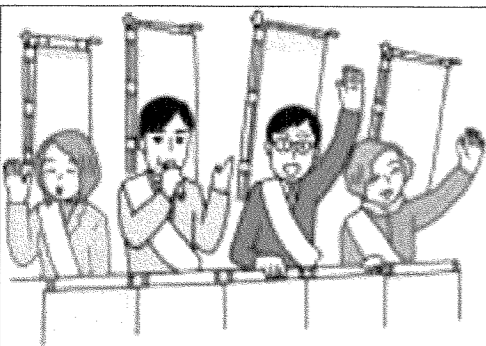
委員会は「統一地方選全体では善戦と言え、戦果」と

の医療費高校生までの拡大、学校給食費の無料化、年金で入れる特養ホームの増設など政策と提案を訴えました。引き続き公約の実現を目指し、また参議院選挙でも勝利を

後半戦では津久見市では無投票で知念豊秀氏が当選、別府市では新人の美馬恭子、現職の平野文活氏の両氏が当選。中津市は現職の荒木ひろ子、

果」と

また参議院選挙でも勝利を



また参議院選挙でも勝利を